

第731 遠忌
 宗祖ご報恩
 お会式
 10月27日奉修

清澄

平成24年9・10月
 合併号

発行所
 〒299-5505 千葉県鴨川市
 清澄322-1
 © 清澄寺
 TEL 04 (7094) 0525 番
 FAX 04 (7094) 0527 番
 振替 00140-5-55501

印刷所
 天津 (南)ブラザー印刷
 送料共1部100円

立正大学の同窓会

千葉県支部 50 周年記念
 当山を会場に開催される

【内容は次頁に】



祖師堂でのお開帳後の記念撮影

お知らせ

10月

27日 14:00
 お会式
 27日 19:00
 信行会(唱題行)
 28日
 暁天法要

11月

27日 18:30
 信行会(唱題行)

12月

27日 18:30
 信行会(唱題行)
 31日 19:00
 除夜祭
 23:35
 水行式
 23:55
 除夜の鐘

「表紙写真から」

今年は立正大学同窓会千葉県支部の創立五十周年であり、二宮別當が支部長でもある関係から、当山を会場に記念大会が開催されました。

初日は雨が降っておりましたが、同窓生である渡邊

虚空蔵菩薩大祭

宗祖日蓮大聖人が、当山でご修行の折、一心にお祈りになった、虚空蔵菩薩の大祭が、九月十三日に奉修されました。



初めての試みで準備されたお手綱

照敏日蓮宗務総長様、塩崎望已総務局長様、片桐有而鴨川市長様を始め、約八十名の参加があり、午後二時の祖師堂でのお開帳、宝物拝観などの諸堂案内からはじまりました。

その後、信育道場に移動して総会が行われ、総会終

日蓮大聖人御遺文「善無畏三蔵抄」に、「幼少の時より虚空蔵菩薩に願を立てて云く日本第一の智者となし給へと云云。虚空蔵菩薩眼前に高僧とならせ給ひて明星の如くなる智慧の宝珠を授けさせ給ひき。」

了後は一龍斎貞山さん、貞鏡さんによる講談を鑑賞されました。

懇親会は食堂を会場として行なわれ、同窓生の皆さんは学生時代を懐かしく、思い出話に盛り上がりつつおりました。



益を」という思いより、年に一度、虚空蔵大祭のご聖日に限り、御宝前虚空蔵菩薩御尊像左手の摩尼宝珠(宗祖がたまわった智慧の宝珠)より五色のお手綱をつなぎました。「虚空蔵様

立教開宗会 四月二十七日(二十八日)

二十七日午後二時より、第七百六十回立教開宗慶讃音楽大法要が、当山住職日蓮宗管長・内野日総猥下大導師に、副導師には二宮別當、並びに地元宗務所長、両親閣妙蓮寺住職・上村貞雄僧正のもと厳修されました。

石川日命猥下ご名代橋本執事長、本山妙覚寺・堀水日行猥下、本山鏡忍寺・原日透猥下、日本山妙法寺の各師でした。

また今年は、地元安房東部組寺院の教師檀信徒の参列もあり、総参列者数は例年より多い二百五十名程になりました。

法要は、有志による和讃奉納から始まり荘厳な音楽法要でありました。

来賓としては、渡辺宗務総長ご名代、塩崎望已総務局長、地元大本山誕生寺から「智慧」を授けていた「だこう」と、参詣者がお手綱にならぶ姿も見受けられました。

例年より多い参列者の中で、午後二時より二宮別當を導師に、山務職員修法師出仕にて法要が営まれ、その後、宮崎執事長を修法導師に、参列者に「智慧明瞭・福德増進・家内安全・心願成就」の御加持が修され、全国各地より申し込まれた祈願の読み上げが行われました。



**明年は小松原法難 750 年ご正当の年です。
 本山 鏡忍寺様へ御参詣の折には、
 ぜひ当山にもお立ち寄り (参拝・参籠) の程、
 お願い申し上げます。 合掌**

**千葉西部
 いのりの日
 四百名近い団参**

四月二十九日に千葉県西部宗務所(土井了真宗務所長)主催の「いのりの日」が清澄寺にて開催されました。



この日は最高の好天で、西部宗務所管内教師・檀信徒合わせて、約三百八十名ほどの参加がありました。参加者は山の中腹でバスの号車ごとに行列を組み、旧道を教師の太鼓を先導に徒歩で御題目を唱えながら

登山されました。

その後、旭が森に移動して土井所長を導師に法要を行い、祖師堂摩尼殿の参拝、昼食前に御題目の写経、昼食後は信育道場にて信行活動が行われ、土井所長の挨拶、当山二宮別當より歓迎の挨拶と続きました。

千葉教区長である上村貞雄千葉県南部宗務所長による信行法話、その後、山本隆真千葉県西部宗務所副長を導師に唱題行が行われて閉会となりました。



上村貞雄千葉県南部宗務所長による信行法話

妙見宮大祭

七月二十一日、二十二日の二日間、當山奥の院妙見宮において、妙見宮大祭が開催されました。



登山される参拝者の方々

二宮別當導師のもと、法味言上により、お開帳された清澄の妙見様は、右手に剣を持ち、左手に宝珠、金色で彩色された立像のものです。

一年振りに御尊顔を拝しましたそのお姿から放つ御威光に、改めて有難い思いでいっぱいでした。

午前中には、地元各漁業関係者や一般のご信者の

方々が、大勢お参りに来られ、宮崎執事長をはじめ、山務員修法師総出仕の下、読経、祈禱にも熱が入り、大祭中は清澄のお山に読経の声、木剣の妙音が響き渡り、活気のある妙見宮大祭となりました。



各地より申し込みのあった祈願札

大施餓鬼会 法要



八月一日、午前十一時から護山会会員各家、並びに護山顕彰物故者を回向する、大施餓鬼会法要が二宮別當を大導師に祖師堂において奉行されました。

この法要は、第七代別當塩田日照猊下の代に発願され発足した護山会、並びに信徒各家のご回向のために始められたものです。

祖師堂中央には、施餓鬼

棚が設けられ、全国の護山会会員、並びに信徒の皆様よりお申込みのありました卒塔婆が、沢山建てられ法要が行われました。

法要の中では堂内に散華が舞い、行堂、卒塔婆への灑水、読経と続き、今野宗郎護山会会長はじめ、参列者が焼香され、志す靈位に

思いを馳せておりました。法要終了後、別當より参列者に御礼の挨拶があり、施餓鬼法要の意義と大切さを話されておりました。

近年、護山会の活性化が停滞し懸念されておりますが、当山護持顕彰のために、ぜひとも御協力をお願い申し上げます。

寺子屋

(少年少女修養道場)

開催される

夏休みになると、全国各地で子供たちの修養道場が開催されます。

ここ清澄寺でも、研修会館を会場とし、各管区の日蓮宗青年会が主催となり開催されました。

日頃体験することのない

《御利用されました各団体は：》

- 七月二十四～二十五日 栃木日青会 三十四名参加
- 七月二十五～二十七日 千葉南部日青会 百十名参加
- 七月二十八～二十九日 千葉西部日青会 六十三名参加
- 七月三十～三十一日 埼玉日青会 六十四名参加
- 八月六～七日 東京西部日青会 六十名参加



千葉南部日青会寺子屋

各管区開催の中から地元、千葉県南部日青会『第二十二回寺子屋』を紹介させていただきます。

インドのストーリーテラドレンの一日を視聴し、子供たちだけで意見・感想を話し合う『子供会議室』を開設し、班ごとに意見をまとめ発表してもらいました。

発表内容は「自分は恵まれている」「両親が仕事をし、養ってくれるからこうして生きられる。両親に感謝」「物を大切にする」「貧しいけれどもインドの子供達は笑っていた。近くに両親や友達がいるからだ。誰



栃木日青会修養道場

かが近くにいるということ、は素晴らしいこと」「生きている、それだけでスゴイこと・楽しいこと」等。時には大人顔負けの意見もあり、恵まれた環境で生活している自分と、貧しい中でも笑顔でいるインドの子供たちを照らし合わせ、「命の尊さ」「あたりまえはあたりまえではない」「感謝」「自分の使命」等たくさんのごことに気づき、学びました。

その後、団扇太鼓をたたきながらの唱題修行、坐禅修行の『仏事体験』、恒例の『肝試し』『流しそうめん』と学びあり、笑顔ありの寺



埼玉日青会修養道場

子屋でした。「お寺離れ」がさげばれている昨今、心が発達する幼少期だからこそ「お寺」をより身近な場所・空間に感じて欲しい、また、お寺での貴重な体験を今後の生活に役立てて欲しいと願うところです。



千葉西部日青会修養道場



「今日からよろしくお願ひします」と子どもたちの挨拶

コスモス幼稚園の林間学校今年も開催される



東京西部日青会修養道場

園児百三十二名、職員十三名総勢百六十五名にも及ぶお泊まり保育です。仏事体験や麻綿原高原への遠足、キャンプ、プファイヤーなど、日頃体験しないことばかりで、またお父さんお母さん達と離れてお泊まりするわけだから、園児にとつては大冒険です。三日間晴天にも恵まれ、皆仲良く過ごし虚空蔵菩薩様に智慧をいただいで元気に地元へ帰られました。



眠い目をこすりながら朝勤参拝

今年も七月十八〜二十日の二泊三日でコスモス幼稚園の皆さんが林間学校として清澄寺を会場に開催されました。

度牒団参 (七月二十七〜二十八日)

今回の度牒団参は、愛知県岡崎市の善立寺様でした。

愛知県岡崎市

善立寺小幡潮頭師徒弟

度牒生 小幡隆志君

度牒を受けられたのは御孫さんの小幡隆志君十一才で、檀信徒の皆様に見送られながら法式所作の指導を受ける為祖師堂へ出発しました。

張感漂う中、法式所作指導・読経試験が行われました。読経試験官の宮崎執事長は「合格、これからは自信を持って今後の仏道修行に精進して下さい」との事でした。

日程は通常の度牒と同じ日程で進みましたが、度牒生一人という事もあり、緊

その間、檀信徒の方々は、お題目写経を行い諸堂を見学され、魔尼殿にて御開帳を受けられました。



二宮別當との記念撮影

夕食後は二十七日という事もあり信行会の皆様と一緒に研修会館にて唱題行を体験されました。翌朝の天候は曇りで、残念ながら御来光は拝めませんでした。が、五時三十分より別當様御導師のもと、度牒交付式が厳肅な空気の中、厳修されました。

志學館高等部 夏期合宿ゼミ

毎年恒例の志學館高等部(木更津市)の夏期合宿ゼミが八月二十日から二十四日までの四泊五日にわたって開催されました。

毎年有名大学に多くの合格者を輩出している志學館高等部ですが、大学受験に備えて、受験科目の学力を強化し、二学期以降の指針とすることを目的に第一日目の二十日は午後から参加した三十四名の生徒は早速講義受講者と自主学習者にわかれて熱心に勉強しておりました。



清澄寺の朝勤には四日目の二十三日に参列し、参加の生徒は虚空蔵菩薩様に大合格と学力の増進を祈念しつつ心をこめて御焼香をしておりました。
来春の生徒諸君の吉報をお待ちしております。

ボーイスカウト 鴨川第五団 サマーキャンプ

八月二十四日から二十六日の三日間にわたって、ボーイスカウト鴨川第五団主催のサマーキャンプが開催されました。

小学生を中心に三日間でのべ三十名の参加があり、ハイキングやキャンプファイヤー、望遠鏡作りなど色々なスケジュールをこなしておりました。

親元を離れて集団でのキャンプは大変だったかと思いますが、子供達は集団生活を経験し、自分のことは自分でし、また他の子達と助け合い、一回りも二回りも成長して帰路に就いたと思います。

山梨県第一部宗務所 檀信徒特別研修



檀信徒の皆様
さんは当日、

鏡忍寺様にて小松原法難七五〇年の研修を終え、当山に來山されました。引き続き、写経、法話、唱題行、翌日は旭が森遙拝、朝勤参列等々されました。

旭が森遙拝では、曇っておりましてが、ご来光の時間になりましたら雲の間から素晴らしき朝日を拝む

九月五日、六日で山梨県第一部宗務所(望月本映所長)主催で特別研修が開催されました。教師五名檀信徒二十三名が参加。

事が出来、充実した二日間を終えて元気に下山され、次の日程、誕生寺様へと向いました。

今号は、記事の内容から日程的にはランダム掲載となつてしまいました。
従いまして、読みづらい事と思ひますがご了承願ひたく存じます。

「暑さ寒さも彼岸まで」と良く言われますが、今年には彼岸が終わつてようやく涼しく、と思つていたら涼しいどころか一気に寒く感じる陽気に戸惑つております。

尖閣諸島問題もテレビを拝見しますと寒気(さむけ)を感じますね。

いろいろな問題を抱える中、昨年三月十一日の東日本大震災も一年半を過ぎましたが、まだ殆ど復興されていない感じを受けます。被災者の立場としましては、まだまだ癒えない気持ちでいっぱいではないでしょうか。

清澄寺では被災地の早期復興と物故者の御供養を連日させて頂いております。是非ご登山なされましたら、共にご回向を捧げたいと思っております。

談話室